

NAND フラッシュメモリモジュール

(OP-NF128M-00)

取扱説明書

Version 1.0.0

2006年8月28日

株式会社アットマークテクノ

<http://www.atmark-techno.com/>

はじめに

このたびは NAND フラッシュメモリをお買い求めいただき、ありがとうございます。
本マニュアルには、Armadillo-220/230/240 への接続方法、Linux での利用方法が記載されています。

注意事項

- 通電中に抜き差ししないでください。故障やデータ消失のおそれがあります。
- 本製品のコネクタ部分や部品面には直接触れないでください。静電気が流れ部品が破壊される恐れがあります。
本製品の取り付け、取りはずしは金属製のものに触れて静電気を逃がした後に行ってください。
ご使用になるまでは帯電防止対策のされている、出荷時のパッケージ等に保管してください。
- 本製品へのアクセス中にCPUボードの電源を切ったり、CPUボードをリセットしないでください。
故障やデータ消失のおそれがあります。
- 本製品を結露させたまま使わないでください。故障やデータ消失のおそれがあります。
- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。
(定期的なバックアップをお勧めいたします)

パッケージ内容の確認

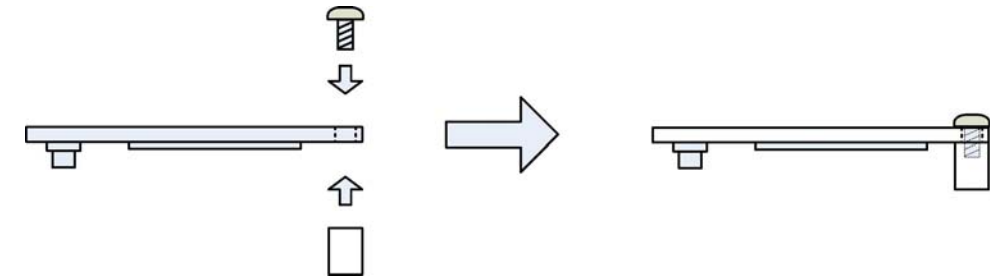
お使いになる前に、下記のものが入っているかをご確認ください。万一不足や破損しているものがありましたら、お買い上げの販売店へご連絡ください。

部品	数量
本体 NANDモジュールコネクタ CPUボードのNANDモジュールコネクタへ接続します スペーサ取付用穴	1
スペーサ	1
スペーサ取付用ネジ	2

組み立て

Armadillo-220/230/240へ本製品を接続する前に、基板固定用のスペーサを取り付けます。
本製品および付属のねじとスペーサを用意してください。取り付けは以下の図を参考にしてください。

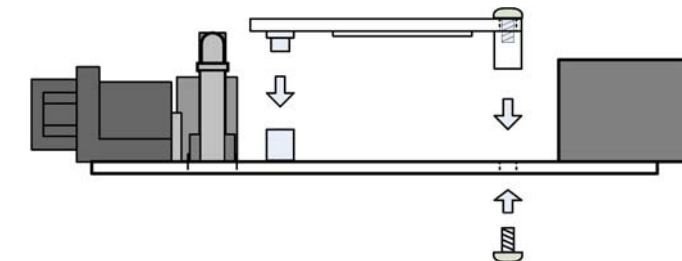
- スペーサを基板の部品実装側に置き、基板反対側よりねじ止めをしてください。



Armadillo-220/230/240への接続方法

Armadillo-220/230/240へ本製品を接続します。組み立て済みの本製品と付属のねじを用意してください。
取り付けは以下の図を参考にしてください。

- 本製品をArmadillo-200シリーズ基板のNANDモジュールコネクタへ接続してください。最後にArmadillo-200シリーズ基板下側より、ねじ止めをしてください。
注意事項! 斜めに押し込むとコネクタが破損する恐れがありますのでご注意ください。



Linuxでの使用方法

- 認識された場合は、Linuxブート中に以下のメッセージが表示されます。

```
NAND device: Manufacturer ID: 0x20, Chip ID: 0xf1 (ST Micro NAND 128MiB 3,3V 8-bit)
```

- NANDフラッシュメモリのフォーマット方法は以下のとおりです。

```
[root@a240-0 (ttyAM0) ~]# flash_eraseall -j /dev/mtd4
```

- NANDフラッシュメモリのマウント方法は以下のとおりです。
(以下の例では、/mntへNANDフラッシュメモリをマウントしています。)

```
[root@a240-0 (ttyAM0) ~]# mount -t jffs2 /dev/mtdblock4 /mnt
```